

令和 3 年度

筑紫野市教育委員会  
点検・評価報告書



筑紫野市教育委員会

令和 4 年 6 月

# 1. はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し公表するため作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

## 2. 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の構成

(令和4年3月31日現在)

委員の区別	氏名	性別	委員としての任期	
			任命年月日	満了年月日
教育長	上野 二三夫	男	R2. 1. 1	R4.12.31
委員	潮見 眞千子	女	R3.12.21	R7.12.20
委員	田代 邦夫	男	H31. 3. 7	R5. 3. 6
委員	牛川 由美	女	R2.6.23	R6.6.22
委員	久原 寛	男	R2.10.4	R6.10.3

(2) 教育委員会会議付議事項（令和3年度）

開催日等	議案名
4月28日 第5回定例会	○教育長の報告について
6月3日 第6回定例会	○宝満山保存活用計画策定委員会設置条例を廃止する条例の制定について ○令和2年度筑紫野市教育委員会点検・評価報告書について ○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について ○筑紫野市立図書館協議会委員の委嘱について
7月2日 第7回定例会	○令和3年度学校運営協議会委員の委嘱について
7月29日 第8回定例会	○令和2年度公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業等の報告について ○令和4年度使用小学校教科用図書の採択について ○令和4年度使用中学校教科用図書の採択について
8月26日 第9回定例会	○令和3年度学校運営協議会委員の委嘱について ○筑紫野市自治公民館主事の設置補助に関する条例の一部を改正する条例の制定について ○令和2年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算教育費について ○令和2年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算書について ○令和3年度筑紫野市一般会計補正予算（第6号）教育費について ○令和3年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）について
9月30日 第10回定例会	○筑紫野市教育委員会規則等で定める申請書等の押印の特例に関する規則の制定について ○筑紫野市立小中学校修学旅行中止に伴うキャンセル料等補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
10月28日 第11回定例会	○教育長の報告について

<b>11月26日</b> <b>第12回定例会</b>	○損害賠償の額を定めることについての専決処分について ○令和3年度筑紫野市一般会計補正予算（第8号）教育費について ○財産（建物）の取得について
<b>12月23日</b> <b>第13回定例会</b>	○筑紫野市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について ○筑紫野市奨学生の選考について（2件）
<b>1月27日</b> <b>第1回定例会</b>	○教育長の報告について
<b>2月21日</b> <b>第2回定例会</b>	○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について ○令和3年度筑紫野市一般会計補正予算（第12号）教育費について ○令和4年度筑紫野市一般会計予算教育費について ○令和4年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について
<b>3月24日</b> <b>第3回定例会</b>	○令和4年度筑紫野市一般会計補正予算（第1号）教育費について ○令和4年度筑紫野市教育振興基本計画について ○学校運営協議会を設置する学校の指定について ○筑紫野市奨学生の選考について（2件）

以上の付議事項は全て可決されました。

### （3）その他の活動状況

- ①学校訪問・・・給食訪問（4校）
- ②研修等・・・筑紫地区教育委員研修会（オンライン会議）出席（1回）  
筑紫野市教育委員研修会（1回）  
視察研修（ふるさと館ちくしの）（2回）
- ③総合教育会議（1回）

### 3. 施策の点検・評価

<b>基本事業名</b>	総合計画で示された「事業名」 (教育施策大綱・教育振興基本計画掲載)
<b>めざす姿</b>	総合計画で示された「めざす姿」(教育施策大綱掲載)
<b>目標のあるべき姿</b>	総合計画で示された「目標のあるべき姿」 ※令和5年度末までの目標
<b>主な取組</b>	総合計画で示された4年間の「主な取り組み」 (教育施策大綱・教育振興基本計画掲載)
<b>具体的な取組</b>	令和3年度実施する具体的な取り組み (教育振興基本計画掲載)
<b>実績</b>	令和3年度に実施した内容
<b>成果・課題</b>	令和3年度の成果及び課題
<b>担当課</b>	〇〇〇

## 目標 1 人権尊重のまちづくり

### 【めざす姿】

人権が侵害されない市民生活ができるようになっていきます。  
男女の人権が尊重され、あらゆる分野に平等に参画しています。

<b>基本事業名</b>	<b>人権教育及び啓発の推進</b>
<b>めざす姿</b>	人権を尊重し、侵害しないようになっていきます。
<b>目標のあるべき姿</b>	この1年間に相手の人権を侵害するような言動や行動をした市民の割合が、3%以下となっています。

<b>主な取組</b>	<b>人権・同和教育の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会科学習カリキュラムを活用した授業を全小・中学校で実施する</li> <li>○学校における差別事象の発生防止に努め適切な対処を行う</li> <li>○人権が等しく保障された一人ひとりの自己実現を目指すキャリア教育を推進する</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会科学習カリキュラムを活用した授業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度実施率 100%</li> </ul> </li> <li>○学校における差別発言など事象が発生した場合の連絡・報告体制を整備し、発生時には速やかに状況把握を行い、発生防止に向けた助言・指導を行った。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場における差別事象の報告件数 R2年度 ⇒ 25件 R3年度 ⇒ 20件</li> </ul> </li> </ul>
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めざす姿にむけて、全小・中学校で社会科学習カリキュラムを活用した授業が実施された。 今後もこの取組を継続していく必要がある。</li> <li>○めざす姿にむけて、差別事象の発生防止にかかる助言・指導等を行うことができた。 今後もこの取組を行うことを通して、子どもや保護者の人権感覚を育んでいく必要がある。</li> </ul>

<b>担当課</b>	教育政策課
------------	-------

<b>主な取組</b>	<b>人権・同和教育推進体制の充実</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○筑紫野市同和教育研究会への加入促進を図る</p> <p>○関係機関・団体との連携強化に努める</p> <p>○同和教育 5 中学校区事業補助金により、各中学校ブロックの同和教育の推進を図る</p>
<b>実績</b>	<p>○非会員を含めた全職員を対象に定期的に活動報告（行政部会ニュース）発信を行い、学習内容の周知とともに会員募集を随時行った。なお、非会員の若手職員に参加を呼びかけている館外研修は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。</p> <p>・行政部会会員：R3 ⇒ 166 人（R2 ⇒ 172 人）</p> <p>○関係団体である筑紫野市同和教育研究会（市同研）と定期的な連絡会議を行う等、連携強化に努めた。</p> <p>・市同研との連絡会議：R3 年度開催実績計 11 回</p> <p>○各中学校ブロックにおいて一人ひとりを大切にする人権・同和教育推進の充実を図るとともに、各ブロック間の地域格差を解消し、児童・生徒、教職員の人権意識を高めるために 5 中学校推進員会に対して補助金を交付した。</p> <p>・研修等の参加者延べ人数 R2 ⇒ 6,124 人 R3 ⇒ 10,391 人</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、会員募集等を行ったところ、主査以上の職員の加入を 90%以上という高い水準で維持することができた。今後もこの水準を維持するとともに、若年層の加入率向上に向けた取組を実施していく必要がある。</p> <p>○めざす姿にむけて、市同研との定期的な会議を実施し、共催事業等をスムーズに行うことができた。今後も定期的な会議を実施し、協力体制を維持していく必要がある。</p> <p>○めざす姿にむけて、同和教育 5 中学校区事業補助金を活用しながら、中学校ブロックごとの様々な実践を行うことができた。今後もこの取組を継続していく必要がある。</p>

<b>担当課</b>	教育政策課
------------	-------

<b>主な取組</b>	<b>市民の人権・同和問題に対する科学的認識と理解を深めるための啓発</b>
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権問題市民懇談会及び機関・団体研修を実施</li> <li>○同和問題啓発強調月間（7月）を中心に講演会、街頭啓発、施設等への看板や懸垂幕の設置等の取り組み</li> <li>○人権・同和問題啓発冊子を発行し、その活用促進を図る</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止になったもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民懇談会、機関・団体研修</li> <li>・講演会（7月、2月）</li> <li>・街頭啓発（7月）</li> </ul> </li> <li>○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点をふまえながら実施したもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・看板・懸垂幕の設置</li> <li>・人権ポスター及び人権標語の掲示（7月、2月）</li> </ul> </li> <li>○啓発冊子の発行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月 同和問題啓発冊子「解放への一歩」（全戸配布）</li> <li>・12月 広報ちくしの「人権問題特集号」（全戸配布）</li> <li>・2月 人権作文集「くさび」（PTAを中心に配布）</li> </ul> </li> </ul> <p>※R3年度アンケート回収数 19件</p>
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めざす姿にむけて、市民懇談会等を行う予定であったが、コロナ禍でやむなく中止となった。  今後は感染状況等をふまえながら、開催方法やテーマ設定についての検討が必要である。</li> <li>○めざす姿にむけて、同和問題啓発強調月間を中心にした啓発活動を行う予定であったが、コロナ禍で一部のみの実施となった。  今後は感染状況等をふまえながら、開催方法等についての検討が必要である。</li> <li>○めざす姿にむけて、啓発冊子を発行し、新たな人権課題（コ</li> </ul>



	<p>ロナ差別) にかかる内容を掲載することができた。</p> <p>今後も冊子の発行を行うとともに、講演会を活用した大規模なアンケート集約等を実施し、客観的な検証につなげていく必要がある。</p>
<b>担当課</b>	教育政策課

<b>主な取組</b>	<b>地域における啓発サポーター養成の取り組み</b>
<b>具体的な取組</b>	○「人権尊重のまちづくりサポーター養成講座」の開催により、地域における人権尊重のまちづくりを推進する人材の育成を図る
<b>実績</b>	<p>○地域における市民啓発の担い手となり得る人材の育成のため「人権尊重のまちづくりサポーター養成講座」を年3回（館外研修を含む）開催した。</p> <p>・R3年度延べ受講者数：86名</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、様々な感染対策を行いながら、年3回の講座を行うことができた。</p> <p>今後もこの取組を継続するとともに、新規受講者の獲得のための案内や声かけを行っていく必要がある。</p>
<b>担当課</b>	教育政策課

## 目標 2 子育て支援の推進

### 【めざす姿】

子育てが楽しく、安心して子どもを生き育てることができています。

<b>基本事業名</b>	<b>幼保サービスの充実</b>
<b>めざす姿</b>	安心して保育所等に子どもを預けて働いたり、幼児教育を受けたりすることができるようになっています。
<b>目標のあるべき姿</b>	放課後児童クラブにおける待機児童数が0人となっています。

<b>主な取組</b>	<b>放課後児童健全育成事業の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の継続的な運営を支援</p> <p>○特別教室等の放課後児童クラブへの活用促進に努める</p>
<b>実績</b>	<p>○放課後児童クラブの運営を NPO 法人ちくしっ子ネットワークへ委託し、運営上の課題解決に向けた協議をその都度行いクラブ運営の支援を行った。</p> <p>【利用者数】</p> <p>通 年 1,089 人 (R2 : 1,111 人)</p> <p>季節のみ 311 人 (R2 : 254 人)</p> <p>○NPO 法人ちくしっ子ネットワーク及び学校と連携しながら、特別教室等を活用し、待機児童解消に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二日市東小学校（多目的ホール）</li> <li>・山口小学校（平等寺バス待合室）</li> <li>・筑紫小学校（図書室）</li> </ul>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、NPO 法人と連携した継続的な放課後児童クラブ運営の実施により、親の仕事による留守家庭に対し、子育ての支援の推進に繋がった。</p> <p>今後、継続して待機児童数がないよう運営の支援を行っていく。</p>

	<p>〇めざす姿にむけて、必要に応じて特別教室等を活用することにより、保育環境を提供することができた。</p> <p>今後も、入所者が増加するクラブについては、特別教室等を活用しながら、待機児童の解消に努める必要がある。</p>
<b>担当課</b>	学校教育課・教育政策課

## 目標 3 学校教育の充実

### 【めざす姿】

子どもたちが確かな学力、豊かな心、健やかな体を育みながら、充実した学校生活を送っています。

基本事業名	教育環境の整備
めざす姿	安全で快適に学ぶことができる施設となっています。
目標のあるべき姿	学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数が0件となっています。

主な取組	老朽化した教育施設（学校施設など）の整備促進
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的に点検・修繕を行い、安全で安心な学校施設を目指す</li> <li>○学校施設及び設備備品等の改修・更新を行う</li> <li>○児童・生徒数の増加や少人数学級の実施に伴う教室数不足の解消に努める</li> <li>○給食設備の充実を図り、衛生管理の推進に努める</li> <li>○トイレの洋式化を進める</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校施設管理マニュアル」を基に、日常的な点検・修理を行った。また、年2回の「定期点検」、年1回の「劣化調査」を行った。</li> <li>○小中学校主な改修・更新             <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ改修 (二日市小(一部)・二日市東小(一部)・山口小(一部)天拝小・二日市中・筑紫野中)</li> <li>・職員室・保健室など空調更新 (二日市小・二日市東小・筑紫野中)</li> <li>・小中学校大型デジタルTV設置</li> </ul> </li> <li>○児童数が増加している筑紫小学校については、プレハブ賃貸借契約を行い、令和4年度建設に向けて進めることができた。</li> <li>○学校との連携及び協議を行い、教室の改修等により教室不足の</li> </ul>

	<p>解消に努めた。</p> <p>○給食調理場主な点検・修繕・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理機器・保管機器（下処理室）点検</li> <li>・加熱機器・冷却器点検</li> <li>・真空冷却機・保管機器（調理室）点検</li> <li>・食器洗浄機修繕</li> <li>・学校用牛乳保冷库更新</li> </ul>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、小中学校のトイレの洋式化や大型デジタルTVの設置を行うことにより、教育環境の充実を図った。</p> <p>今後も、トイレの洋式化や学校施設の老朽化した設備の更新等を行い、安全で快適に学ぶことができる施設を目指す。</p> <p>また、児童生徒数が増加傾向にある学校については、関係課及び学校との連携を密にし、適切な対応を行っていく必要がある。</p> <p>○めざす姿にむけて、各調理機器の点検やそれに基づく修繕のほか、学校配膳室の牛乳保冷库の更新などを実施した。その結果、給食の提供に支障をきたすような調理機器等の不具合や故障は発生しなかった。</p> <p>今後も定期的な点検を実施し、安定した運営を図る必要がある。</p>
<b>担当課</b>	教育政策課・学校給食課

<b>基本事業名</b>	<b>教職員の資質の向上</b>
<b>めざす姿</b>	各種研修により指導力の向上が図られています。
<b>目標のあるべき姿</b>	授業がよくわかると思う児童・生徒の割合が児童 86.0%、生徒 73.2%以上となっています。また、学習指導などの指導力向上の割合が 31.8%以上となっています。

<b>主な取組</b>	知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動及び今日的教育課題対応のための研修の充実
<b>具体的な取組</b>	○各種研修会の充実を図る
<b>実績</b>	○教育力向上一斉研修会」(オンデマンド研修)

	<p>令和3年7月26日(月)～8月6日(金)に視聴 対象：全教職員</p> <p>○「危機管理研修会」(オンライン研修) 令和3年5月11日(火) 対象：副校長及び教頭</p> <p>○「つくしの会－若年教員向け研修－」 令和3年7月30日(金) 令和3年11月2日(火) (6月9日(水)は中止し、資料配付のみ行った。) 対象：若年教員(経験2～6年)</p> <p>○「新任特別支援学級担任研修」(2つに分散し実施) 令和3年6月21日(月), 令和3年6月22日(火) 対象：初めて特別支援学級の担任となった教員</p> <p>○「いじめ・不登校等対策研修会」 令和3年7月15日(木) 11月25日(木) 対象：生徒指導担当教員、不登校対策相談員兼指導員等</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、若年教員の育成やいじめ・不登校に係る対応の理解などを推進することができた。 今後は、これまでの研修を継続していくとともに、学力向上につながるICTの活用に関する研修の実施を検討する。</p>
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>主な取組</b>	<b>指導力向上のための校内研修の充実</b>
<b>具体的な取組</b>	○指導主事が校内研修において指導助言を行い、内容の充実を図る
<b>実績</b>	○各校で開催されている校内研修に指導主事が講師として参加し、指導助言を行った。 【研修回数】4回(R2:3回)
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、教員の授業改善や指導力向上につなげることができた。 今後は、新型コロナウイルス感染症に注意しながら、校内研修に

	において指導主事への派遣依頼を行うよう啓発する必要がある。
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>主な取組</b>	<b>人権・同和教育研修の充実</b>
<b>具体的な取組</b>	○教職員の人権・同和教育の理解を深める研修会を開催する
<b>実績</b>	○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点をつまえながら実施したもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・筑紫野市新転任教職員人権・同和教育研修会  <ul style="list-style-type: none"> <li>※講話を録画した DVD を各学校に配布</li> </ul> </li> <li>・筑紫野市教職員「同和」教育夏期研修会  <ul style="list-style-type: none"> <li>※オンラインによる動画配信</li> </ul> </li> </ul>
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、研修会を実施することができた。今後もこの取組を継続していく必要がある。
<b>担当課</b>	教育政策課

<b>主な取組</b>	<b>教職員の働き方改革の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	○教職員の働き方の現状把握に努め、改善について検討する
<b>実績</b>	○勤怠管理システムを活用し、教職員の勤務実態を把握した。また、その結果を各校長へ送付し、勤務時間が長い教職員に対して、聴取を行うなど改善に向けた取組に活用するよう通知した。
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、教職員の現状における勤務実態を把握することができた。 今後は、超過勤務に係る要因を分析するとともに効果的な改善策について検討する。
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>基本事業名</b>	<b>確かな学力の育成</b>
<b>めざす姿</b>	学習意欲が向上し、自ら考え、解決する力が育っています。
<b>目標のあるべき姿</b>	学習意欲の向上がみられる児童・生徒の割合が、児童 65.0%・生徒 60.0%以上となっています。また、家庭等での学習習慣の定着度が、児童 75.0%・生徒 40.0%以上となっています。

<b>主な取組</b>	児童・生徒の学力実態に応じた指導方法の工夫・改善
<b>具体的な取組</b>	○全国学力・学習状況調査、福岡県学力調査及び市学力検査を実施し、指導方法の工夫・改善に努める
<b>実績</b>	<p>○「全国学力・学習状況調査」(文部科学省) 令和3年5月27日(木) 対象：小学校第6学年 教科：国語・算数 中学校第3学年 教科：国語・数学</p> <p>○「福岡県学力調査」(福岡県教育委員会) 令和3年6月15日(火) 対象：小学校第5学年 教科：国語・算数 中学校第1, 2学年 教科：国語・数学</p> <p>○「市学力検査」(筑紫野市教育委員会) 令和4年1月の学校が指定した日 対象：小学校全学年 教科：国語・算数 令和3年4月の学校が指定した日 対象：中学校第1学年 4教科 中学校第2, 3学年 5教科</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、調査結果等を活用し、指導方法の改善につなげることができた。</p> <p>今後は、児童・生徒の学習意欲の向上につながる授業改善や指導方法の研究をすすめる必要がある。</p>
<b>担当課</b>	学校教育課



<b>主な取組</b>	<b>小・中学校の外国語教育の充実</b>
<b>具体的な取組</b>	○ALT（外国語指導助手）の効果的な活用の促進
<b>実績</b>	○国際化社会に向けた幅広い視野が身につくように、英語に慣れ親しむことを目的とし、ALT 5 名（委託）を全校に派遣した。 【令和 3 年度派遣時数】 小学校：2,374 時間（R2：2,574 時間） 中学校：1,242 時間（R2：1,131 時間）
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、外国語への興味関心を高めることができ、児童・生徒の学習意欲向上につなげることができた。 今後は、派遣計画から新型コロナウイルス感染症による急な変更が生じた場合にも有効に活用する手法を検討する必要がある。
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>主な取組</b>	<b>ICT を活用した教育の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	○ICT の活用に関する校内研修を実施
<b>実績</b>	○一人 1 台タブレットを授業において有効活用するために、各校において、ICT 活用に関する校内研修を実施した。 【令和 3 年度実施校】 小学校： 11 校（R2：8 校） 中学校： 4 校（R2：2 校）
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、一人 1 台タブレットを授業で活用することができた。 今後は、タブレットの活用に関して、学校間、学年間及び学級間での差が生じない取り組みをすすめる必要がある。
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>基本事業名</b>	<b>豊かな心（徳育）の育成</b>
<b>めざす姿</b>	人を思いやり、尊重する心が育まれています。自ら考え、正しく判断できる力が養われています。
<b>目標のあるべき姿</b>	「いじめ」はあってはならない事だと認識している児童・生徒の割合が、児童 86.5%・生徒 82.8%以上となっています。また、不登校児童・生徒のうち、解消・復帰等の改善が見られた児童・生徒の割合が、児童 60.8%・生徒 70.6%以上となっています。また、図書室の一人当たりの年間貸出冊数が児童 84.6 冊・生徒 8.6 冊以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>いじめ・不登校のための組織的・総合的な指導体制の構築</b>
<b>具体的な取組</b>	○生徒指導に関する相談員等の充実を図る ○不登校対策の組織的な取り組みの推進
<b>実績</b>	○児童・生徒や保護者からの相談体制を充実させるため、心理の専門家であるスクールカウンセラー及び福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを各学校に派遣した。また、派遣したケースによっては、不登校対策に関する校内の支援体制にも参画し、組織的な取り組みに寄与した。 【令和3年度対応件数】 スクールカウンセラー : 111 件 (R2 : 127 件) スクールソーシャルワーカー : 973 件 (R2 : 820 件)
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、多岐にわたる内容に関する相談に対応し、児童・生徒及び保護者の心理的な負担感を軽減することができた。 今後は、各学校における組織的な取り組みを更に推進していくための方策を検討する必要がある。
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>主な取組</b>	<b>学校司書を活用した読書活動の推進及び学校図書館の充実</b>
<b>具体的な取組</b>	○小・中学校図書館の蔵書数の充実
<b>実績</b>	○全校に図書司書を配置し、学校図書標準冊数達成に向け、計画

	<p>的な図書購入及び廃棄をすすめた。</p> <p>【令和3年度充足率】</p> <p>小学校平均：92.6%（R2：88.7%）</p> <p>中学校平均：71.4%（R2：71.7%）</p> <p>※ 充足率＝蔵書数／学校図書標準冊数</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、児童・生徒の興味をひく図書を整備し、学校図書の貸出を促進することができた。</p> <p>今後は、充足率の向上のため、図書の購入計画や廃棄基準の策定などの検討を行う。</p>
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>基本事業名</b>	<b>健やかな体の育成</b>
<b>めざす姿</b>	心身ともに健康な体が育っています。
<b>目標のあるべき姿</b>	<p>運動意欲の向上がみられる児童・生徒の割合が、児童 90.5%・生徒 84.2%以上となっています。また、健康に関する基本的な生活習慣が身につけている児童・生徒の割合が、児童 89.0%・生徒 88.0%以上となっています。また、給食の残菜率が 1.50%以下となっています。</p>

<b>主な取組</b>	<b>体力向上プランの実施による健康な体の育成</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○実効性のある「体力向上プラン」や「体育・健康・食に関する指導計画」の作成の推進</p> <p>○学校と連携して、給食残菜率の減少を図る</p>
<b>実績</b>	<p>○「給食訪問事業」</p> <p>小学校 2 校、中学校 2 校を市長、教育長、教育委員にて訪問し会食した。</p> <p>日時：10月18日（月）天拝小学校</p> <p>10月19日（火）二日市中学校</p> <p>10月22日（金）二日市北小学校</p> <p>10月29日（金）筑紫野南中学校</p>

	<p>○新型コロナウイルス感染症感染拡大の観点から中止になったもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「交流給食事業」 全小学校の1年生と調理員との会食</li> <li>・「食に関する指導」 全小学校3年生へ栄養教諭による食に関する指導</li> </ul> <p>○全ての小中学校において、各校の実態に応じた「体力向上プラン」及び「体育・健康・食に関する指導計画」を作成した。</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、計画的に体育を実施し、健康や食に関する指導を行なうことができた。</p> <p>今後は、実効性のある「体力向上プラン」とするために、年度途中での評価や改善などの作業を行う必要がある。</p>
<b>担当課</b>	学校教育課・学校給食課

<b>基本事業名</b>	<b>特別支援教育の推進</b>
<b>めざす姿</b>	障がいのある子どもが、特性に応じた教育を受けることができます。
<b>目標のあるべき姿</b>	障がいの特性に応じた適切な教育を受けることができている児童・生徒の割合が100%となっています。

<b>主な取組</b>	<b>個別の教育支援計画・指導計画の充実</b>
<b>具体的な取組</b>	○個別の教育支援計画・指導計画の作成状況を把握し、内容や実施方法への指導助言を行う
<b>実績</b>	<p>○全小中学校における個別の教育支援計画・指導計画の作成状況について調査した。特別支援学級在籍の児童・生徒に関する個別の教育支援計画・指導計画については、必要に応じて、内容・活用等に関する指導助言を行った。</p> <p>【令和3年度作成数】</p> <p>小学校：530名（R2：686名）</p> <p>中学校：178名（R2：195名）</p>

<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、児童・生徒の支援体制や支援方法について関係者で共有することができた。また、児童・生徒一人一人の教育的ニーズに合わせた指導を計画的に実施することができた。</p> <p>今後は、作成数が昨年度から減少したことを踏まえ、特別な配慮を必要とする全ての児童・生徒について作成が必要であることを、改めて、全小中学校へ指導する必要がある。</p>
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>基本事業名</b>	<b>地域との協力体制</b>
<b>めざす姿</b>	地域の人材や学習資源が活かされ、地域の教育力が向上しているとともに、地域と一緒に開かれた学校づくりが進められています。
<b>目標のあるべき姿</b>	学校活動に協力してくれた市民の割合が 15.6%以上となっています。また、開かれた学校づくりができていると思う市民の割合が 80.3%以上となっています。また、コミュニティ・スクールによる地域連携教育活動数が 64 件以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>コミュニティ・スクールの活動の充実</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○各学校におけるコミュニティ・スクールの活動内容を共有し、各学校の活動の活性化につなげる</p> <p>○各学校の学校運営協議会へ出席し、コミュニティ・スクールの取組状況を把握する</p> <p>○学校・地域や関係機関と連携した安全対策を推進</p>
<b>実績</b>	○新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催頻度は減少したが、開催された全小中学校の学校運営協議会に可能な限り出席し、各学校の活動内容を把握するとともに、他校で取り組んでいる事例の紹介などを行った。
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、学校と地域で育てる子どもの将来像について共有するとともに、地域人材を外部講師として招聘する授業を実施することができた。</p> <p>今後は、地域学校協働活動への移行を見据え、関係課等と検討を</p>

	すすめる必要がある。
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>基本事業名</b>	<b>就学の支援</b>
<b>めざす姿</b>	経済的負担が軽減され、学校に通うことができるようになっています。
<b>目標のあるべき姿</b>	就学支援（支給）が必要な児童・生徒への支援対応割合が 100% となっています。また、就学支援（奨学金貸与）が必要な生徒への支援対応割合が 100% となっています。

<b>主な取組</b>	<b>経済的理由による就学支援が必要な児童生徒への支援</b>
<b>具体的な取組</b>	○経済的理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費などを援助
<b>実績</b>	○教育を受ける権利を保障するため、市立小中学校に通学する上で、経済的な理由によって学用品費や給食費など、学校での学習に必要な費用の支払いに困る保護者に対してその費用の援助を行った。 【支給人数】 小学校：943人（R2：980人） 中学校：549人（R2：529人）
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、入学前の早期申請受付により入学準備等費用が必要となる時期に支給を行った。また、要保護児童生徒援助費補助金補助単価に合わせて支給単価を増額し、支援の必要な児童生徒の保護者に対して援助ができた。 今後も支援が必要な保護者に対して、確実に周知を行っていく。
<b>担当課</b>	学校教育課

<b>主な取組</b>	<b>経済的理由によって進学等が困難な学生への支援</b>
<b>具体的な取組</b>	○経済的理由によって進学等が困難な高校生、大学生に対し、在学中の学業資金を貸与
<b>実績</b>	○就学の意欲があるにも関わらず、経済的理由によって進学又は就学が困難な生徒に対し、奨学金と入学支度金の貸与を行った。 【新規貸与人数】 高校生 5人（R2：4人） 大学生 1人（R2：2人）
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、各中学校進路指導担当者に奨学金の説明を行い、保護者、生徒への周知を図ったことで奨学金が必要な生徒への貸与ができた。 今後も、奨学金が必要な生徒に対して、確実に周知を行っていく必要がある。
<b>担当課</b>	学校教育課

## 目標 4 青少年の健全育成

### 【めざす姿】

豊かな人間性や志を持ち、たくましく生きる力を備えた青少年が育成されています。

<b>基本事業名</b>	<b>青少年の学習機会、体験活動の充実</b>
<b>めざす姿</b>	スポーツや文化・芸術、自然や人とのふれあい・遊び、地域活動などの体験活動、社会参加、世代間交流が推進されています。
<b>目標のあるべき姿</b>	子どもの家庭・地域での体験活動が充分だと思える市民の割合が61.7%以上となっています。また、学校の授業以外で体験活動をしている児童・生徒の割合が児童 95.0%・生徒 91.0%以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>子どもが主体となる事業の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域子ども会」へ補助金制度の周知に努めるとともに、筑紫野市子ども会育成会連絡協議会と連携・支援し、子ども会活動の活性化に取り組む</li> <li>○OBG レンジャー等の事業周知並びに、地域ボランティア確保のため、団体の事業計画策定時に助言・サポートを行う</li> <li>○「キッズ・ウインドー」の紙面発行から、ホームページ掲載に移行し、PC、タブレットやスマホなどで、子どもたちの地域貢献・ボランティア活動、体験活動につながる記事を紹介することで、子どもたちの体験活動情報の充実に努める</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの家庭・地域での体験活動が充分だと思える市民の割合：40.9%</li> <li>○地域子ども会活動補助金の交付            交付子ども会：50 子ども会 3,163 人            (R2 実績：50 子ども会 3,261 人)            交付額：2,397,800 円 (R2 実績：2,391,380 円)</li> <li>○OBG レンジャー補助金の交付            交付数：2 実行委員会</li> </ul>



	<p>内訳：スマイルお泊り実行委員会（みかさ台）3年目 美北子ども育成実行委員会（美しが丘北）2年目 （R2実績：0実行委員会 コロナのためすべて中止）</p> <p>○筑紫野市こども情報誌「キッズ・ウィンドー」廃止</p> <p>○「つくってみよう！」やってみよう！」 家でできる体験活動をホームページで紹介</p> <p>○夏休み作品展 7小学校 59作品（R2実績：なし）</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、補助金の交付や子どもの体験活動の記事募集を行った。 今後は、事業の継続と共に、情報提供について検討する。</p> <p>○地域子ども会活動補助金 近年交付子ども会数が減少傾向にあり、子ども会活動活性化のために、情報提供等に工夫が必要。</p> <p>○筑紫野市こども情報誌「キッズ・ウィンドー」の紙発行を廃止したため、市ホームページでの子ども向け記事の掲載および、子どもが見やすい環境（バナー等）の構築が必要。</p>
<b>担当課</b>	生涯学習課

<b>基本事業名</b>	<b>青少年の居場所づくり</b>
<b>めざす姿</b>	地域・学校・家庭の連携などにより、子どもが安心して集い、交流できる場がつくられています。
<b>目標のあるべき姿</b>	放課後に子どもが集える場が充実していると思う市民の割合が49.7%以上となっています。また、放課後の子どもの居場所がつけられている校区数が11か所以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>青少年が安全で安心できる活動拠点（居場所）づくりの促進</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○地域学校協働活動の推進を図るため、学校や地域での活動の情報収集と分析を行う</p> <p>○青少年プラザでの新規イベント・運営を図るとともに、ボラン</p>

	ティアバンク、中高校生ボランティアとの連携を図る
<b>実績</b>	<p>○放課後に子どもが集える場が充実していると思う市民の割合：45.1%</p> <p>○地域学校協働活動の推進として、ちくしっ子遊び広場（山口小）を1回（53人参加）実施（R2実績：0回）。小中学校および7コミュニティ運営協議会に対し、地域学校協働活動の実施状況を調査。</p> <p>○青少年プラザは、自学机をコロナ禍仕様で配置。イベントについては未実施。</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、コロナ禍を踏まえた事業を推進し、今後は事業継続と共に、人材確保や運営方法を検討する。</p> <p>○地域学校協働活動の推進については、小中学校や7コミュニティ運営協議会の既存活動に注目し、円滑な活動となるようコーディネーターの配置やネットワークの構築などの検討を行う。</p> <p>○コロナ禍での安全な青少年プラザ運営を継続する。</p>
<b>担当課</b>	生涯学習課

<b>基本事業名</b>	<b>青少年の指導者育成</b>
<b>めざす姿</b>	青少年の指導者や子どもたちのリーダーが育っています。
<b>目標のあるべき姿</b>	青少年の指導者・子どもリーダー数が186人以上となっています。また、生涯学習ボランティア活動数（延べ活動者数のうち青少年に関わるものの人数）が2,000人以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>リーダーとなる子どもや指導者の育成</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○地域子ども会に対して、市子連への加入を促すとともに、市子連の活動内容や役割等の見直しについて助言する</p> <p>○指導者となる人材の確保及び育成方法について検討を行う</p>
<b>実績</b>	<p>○青少年の指導者・子どもリーダー数 42人</p> <p>○生涯学習ボランティア活動数（青少年に関わる）242人</p> <p>○育成会研修会</p>

	<p>新型コロナウイルス感染症のため、集合研修を行わず、地域子ども会の自主学習用の資料を、市子連 HP に掲載。</p> <p>○新子ども会リーダースクール</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため、集合研修を行わず、2月に地域子ども会の自主学習用の資料を配布。</p> <p>○筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助事業</p> <p>0円（R2実績：200,000円）上限495,000円</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、コロナ禍での資料送付や市子連ホームページを活用しながら、子ども会運営に役立つ情報提供を行った。</p> <p>○めざす姿にむけて、従来の集合研修スタイルにとらわれず、市及び市子連ホームページを活用しながら、地域子ども会活動への理解と活動の充実へ繋げる。</p>
<b>担当課</b>	生涯学習課

<b>基本事業名</b>	<b>環境浄化活動の推進</b>
<b>めざす姿</b>	青少年の健全育成を阻害する環境が浄化され、事件・事故が予防されています。
<b>目標のあるべき姿</b>	少年の検挙・補導人数が23人以下となっています。

<b>主な取組</b>	<b>学校、家庭、地域等と連携した青少年健全育成及び非行防止活動の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○市民の期待に沿う非行防止活動が実施されるよう、青少年指導員・少年補導員への継続的な支援を実施</p> <p>○インターネット関連の犯罪を防ぐため、青少年指導員・少年補導員だけでなく、市民団体や関係機関と情報共有・連携を図り、必要な支援・処置を行う</p>
<b>実績</b>	<p>○少年の検挙・補導人数：44人</p> <p>○青少年指導員54人 活動回数413回 幹事会5回</p> <p>(R2実績：活動回数479回 幹事会6回)</p>

	<p>○少年補導員 24 人 定例会 8 回 (R2 実績 : 定例会 10 回)</p> <p>○安全安心まちづくり推進協議会少年非行防止分科会 インターネット利用マナー啓発クリアファイルの配布 : 1,037 枚 (R2 : 1,070 枚)</p> <p>スマートフォントラブル防止啓発リーフレットの配布 : 2,000 枚 (R2 : 2,095 枚)</p> <p>スマートフォントラブル防止啓発 B5 版ノートの配布 : 1,021 冊 (R2 : なし)</p>
<p><b>成果・課題</b></p>	<p>○めざす姿にむけて、地域活動を実施や啓発リーフレット等を配布した。 今後も、団体の特性に合わせた活動を実施していく。</p> <p>○青少年指導員・少年補導員 新型コロナウイルス感染症のため、市イベントや一斉パトロールが中止となり、主として所属地でのパトロール活動を行った。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた 11 月、青少年指導員会は、学校や PTA 関係者も対象にした研修会 (76 人参加) を開催し、子どもたちを取り巻く SNS 環境を学んだ。 今後も、コロナ禍での活動について検討していく。</p> <p>○安全安心まちづくり推進協議会少年非行防止分科会 コロナ禍での授業への影響を考慮し、標語募集の代わりにリーフレット等を配布し啓発を行った。 今後は、コロナ禍での事業推進のため、当該分科会で手法等を継続して検討する。</p>
<p><b>担当課</b></p>	<p>生涯学習課</p>

<b>基本事業名</b>	<b>青少年の悩み相談の充実</b>
<b>めざす姿</b>	青少年が悩みを抱え込まず、相談することができます。
<b>目標のあるべき姿</b>	青少年の相談窓口を知っている児童・生徒の割合が57.2%以上となっています。

<b>主な取組</b>	青少年を取り巻く問題の解決
<b>具体的な取組</b>	○ヤングテレフォン相談事業の継続・見直しを含め、行政内の関連する相談業務との連携強化等の検討を行う
<b>実績</b>	○相談窓口を知っている児童・生徒の割合：33% ○ヤングテレフォン相談事業 相談件数 電話：377件（R2：374件） メール：1件（R2：3件） 啓発チラシの配布：20,852枚（R2：11,943枚）
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、従来通り、青少年自身や保護者の悩み相談に対して、傾聴を実施。内容によっては、関係課・機関へ情報提供し、医療的な悩み等については、専門機関を紹介。ヤングテレフォンのチラシやPRカードは、学生や保護者だけでなく、不登校生徒関係者に配るほか、中高生のスマートフォン普及状況を踏まえ、QRコードをポスター等に掲載した。
<b>担当課</b>	生涯学習課

## 目標 5 生涯学習・社会教育の推進

### 【めざす姿】

個人や地域のニーズに応じた学習を行う市民が増加し、学習成果が家庭・地域で活かされています。

<b>基本事業名</b>	<b>ニーズに応じた学習機会の充実</b>
<b>めざす姿</b>	学習機会が充実し、その情報が受けられるようになっています。
<b>目標のあるべき姿</b>	生涯学習講座の充足度が 88.5%以上となっています。また、生涯学習情報（市ホームページ）アクセス件数が 200,000 件以上となっています。また、生涯学習情報（市広報紙）利用割合が 9.0%以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>魅力ある学習機会や情報の提供</b>
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治公民館とコミュニティ運営協議会の連携も含め、自治公民館主催事業、コミュニティセンター主催事業のそれぞれの目的とニーズに合わせた講座を実施する</li> <li>○「ちくしの高年大学」の見直しについて検討を行う</li> <li>○「ちくしの文化講座」の PR に努めるとともに、受講生・社会のニーズを念頭に、魅力的なプログラムの講座を実施する</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習講座の充足度 87.8%</li> <li>○生涯学習情報（市 HP）アクセス件数：141,404 件</li> <li>○生涯学習情報（市広報紙）利用割合：4.5%</li> <li>○自治公民館主催事業 講座数 14 回 開催公民館 12 館 参加数 297 人 (R2：講座数 15 回 開催公民館 9 館 参加数 239 人)</li> <li>○コミュニティセンター主催事業 講座数 66 回 実施回数 265 回 参加延人数 3,317 人 (R2：講座数 37 回 実施回数 205 回 参加延人数 2,809 人)</li> <li>○ちくしの高年大学 教養講座 1 回 (R2：教養講座 3 回)</li> </ul>

	<p>○ちくしの文化講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期講座：2 講座（R2：5 講座） ピラティス・ヨガ、メノポーズのカラダメンテナンス</li> <li>・パソコン講座：15 講座（R2：11 講座） インターネット入門、Word, Excel, PowerPoint やスマホ・タブレットの使用方法</li> <li>・1 d a y 講座：9 講座（R2：8 講座） 料理、お菓子、アロマ、もの作りなど</li> <li>・人物歴史講座：3 回（R2：4 回） 歴史上の人物の生き様やエピソードを通じて、歴史・人生観を学ぶ。</li> <li>・筑紫野市日本語教室ボランティア入門：2 回（新規） 外国人との接し方や日本語指導のスキルを学び、日本語教室のボランティアスタッフを目指す。</li> </ul> <p>◆受講者数 総延 578 人（R2：1,489 人）</p>
<p><b>成果・課題</b></p>	<p>○めざす姿にむけて、各種講座を実施。</p> <p>○自治公民館主催講座・コミュニティセンター主催講座 新型コロナウイルス感染症による休館・休講期間を除き、可能な限り講座を開催したことが、充足度の上昇につながったと考えられる。今後は、充足度維持のため、講座内容のニーズはもとより、オンラインなどの講座手法についても検討していく。</p> <p>○ちくしの高年大学 高齢者事業のため、コロナ禍での開催が困難となっている。講座手法についても検討が必要。</p> <p>○ちくしの文化講座 昨年度まで定期講座として開催していた英会話やギターなど 8 講座は、生涯学習センター利用登録団体へ移行し、自主的な活動が始まっている。短期講座 2 講座も自主的な活動に移行。コロナ禍でデジタルディバイド解消を念頭に、パソコン、スマホ講座を数多く開催していく。</p>
<p><b>担当課</b></p>	<p>生涯学習課</p>

<b>基本事業名</b>	<b>生涯の学びを地域で活かせる人づくり</b>
<b>めざす姿</b>	市民自らが地域活動や学習活動を主体的に推進し、人材育成と地域交流ができるようになっていきます。
<b>目標のあるべき姿</b>	地域で活動する人材の育成人数が 4,718 人以上となっています。また、生涯学習ボランティア新規登録数が 72 人以上となっています。また、自らの知識や能力を活かし、地域で活動している市民・団体の数が 513 人以上になっています。

<b>主な取組</b>	<b>人材育成と地域交流の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○家庭教育学級等の手法を見直し、学級生の負担軽減のほか、多くの保護者が参加できる体制、学習意欲を刺激する内容作りに努める</p> <p>○広報誌やホームページを活用した広報活動を行うとともに、ボランティアバンクの会の活動をサポートし、登録者数の増加を図る</p>
<b>実績</b>	<p>○地域で活動する人材の育成人数 3,368 人</p> <p>○生涯学習ボランティア新規登録数 16 人</p> <p>○地域で活動している市民・団体の数 364 人</p> <p>○はぐくみキャンパス（家庭教育事業）</p> <p>「家庭教育学級」 学級数：14 学習会回数：42 回（R2：事業中止）</p> <p>「つぼみカフェ」 学級生：23 人 学級回数：3 回（R2：事業中止）</p> <p>○ボランティアバンクの会 ボランティアバンク登録者数等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数：個人 343 人（R2：370 人） ：団体 21（R2：22）</li> <li>・派遣件数：54 件（R2：55 件）</li> <li>・ボランティア活動者数：のべ 299 人（R2：313 人）</li> <li>・市民利用者数：のべ 10,055 人（R2：17,351 人）</li> </ul>
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、学習会の開催やボランティアバンクの会と



	<p>事業を推進。</p> <p>○教育事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、学校以外での学習とし、学びをつなげることができた。学校で学ぶことの意義も踏まえながら、引き続き会場や手法を検討する。</p> <p>○ボランティアバンクの会</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため、休止期間が発生した。コロナ禍での安全なボランティアの派遣・育成事業の手法について検討を継続する。</p>
<b>担当課</b>	生涯学習課

<b>基本事業名</b>	<b>異文化理解の推進</b>
<b>めざす姿</b>	異文化を理解し、国際性豊かな市民となっています。
<b>目標のあるべき姿</b>	国際交流が推進されていると思う市民の割合が 26.7%以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>異文化交流の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○こども大使の受け入れを、市内 11 小学校の輪番制とし、ホームステイの様子やアドバイスを実施することで、ホストファミリーの確保に努める</p> <p>○電子掲示板やチラシ等で「にほんご教室」の広報活動に努める</p> <p>○「にほんご教室」の学習者（外国人）ごとの要望やレベルに併せた学習を行うとともに、日本の風習を伝えるイベントを実施し、学習者・ボランティアスタッフ双方にとって実りのある教室作りに取り組む</p>
<b>実績</b>	<p>○国際交流が推進されていると思う市民の割合 19.2%</p> <p>○BRIDGE KIDS PROGRAMS～BRIDGE Summer Camp～ ※新型コロナウイルス感染症のため、オンライン開催。</p> <p>○筑紫野市日本語教室「ワイワイ日本語ちくしの」 ・開催：21回（R2：16回）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアスタッフ 平均 8 人/回 (R2 : 8 人/回)</li> <li>・外国人学習者 平均 5 人/回 (R2 : 5 人/回)</li> </ul>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、コロナ禍でもできる日本語教室を実施。</p> <p>○BRIDGE KIDS PROGRAMS～BRIDGE Summer Camp～ アジア各国からの参加者という点で、コロナ禍での事業参加は困難であり、コロナ禍の状況を踏まえ、今後の事業への関わり方について検討する。</p> <p>○筑紫野市日本語教室「ワイワイ日本語ちくしの」 文化講座と連携し、日本語教室のボランティアスタッフを拡充している。</p> <p>今後はボランティアスタッフの育成と受講生の募集について注力していく。</p>
<b>担当課</b>	生涯学習課

<b>基本事業名</b>	<b>社会教育施設の充実</b>
<b>めざす姿</b>	安全で快適に学ぶことができる施設となっています。
<b>目標のあるべき姿</b>	社会教育施設の満足度が 88.0%以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>安全・安心な学習施設の整備促進</b>
<b>具体的な取組</b>	○日常的に点検等を行うことで施設の状況を把握し、利用者が安全かつ安心して利用できる学習施設の維持に必要な改修等を行う
<b>実績</b>	○日常的に点検等を行い、修繕等を行った。また、公共建築物等長寿命化計画に基づき、年 2 回の定期点検及び年 1 回の劣化度調査を行った。
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、日常的に点検を行い、施設の老朽箇所等の修繕ができた。施設の経年劣化が進んでいるため、今後計画的な修繕について検討する。
<b>担当課</b>	生涯学習課

<b>主な取組</b>	<b>老朽化した機械設備等の計画的な更新</b>
<b>具体的な取組</b>	○老朽化による機械設備の不具合が増加しているため、計画的な予算執行の下で機械設備の更新を行う
<b>実績</b>	○日常的に点検等を行い、電気設備、機械設備等の修繕を行った。
<b>成果・課題</b>	○施設の設備全般が耐用年数を経過しているため、今後計画的な設備更新に向けて検討する。
<b>担当課</b>	生涯学習課

<b>主な取組</b>	<b>学習施設の効果的な管理・運営</b>
<b>具体的な取組</b>	○生涯学習センターの総合受付・施設管理を業務委託することにより利用者の意見等を反映した管理・運営を行う
<b>実績</b>	○生涯学習センター：受付・清掃・施設管理の業務委託。 ○竜岩自然の家：清掃・当直宿直の業務委託。
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、受付・清掃・施設管理・当直宿直の業務委託により、利用者からの様々な要望への対応や細やかな配慮が可能となり、効率的かつ柔軟な施設の管理運営ができた。 今後より良い管理運営を目指すため、業務委託内容の見直し等を検討する。
<b>担当課</b>	生涯学習課

<b>基本事業名</b>	<b>読書活動の推進</b>
<b>めざす姿</b>	本に触れる機会や読書を通じて学ぶ機会が増加しています。
<b>目標のあるべき姿</b>	市民図書館の年間利用者数が 195 千人以上となっています。また、図書館の設備・資料の満足度が 89.0%以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>市民図書館における読書環境の整備と図書資料の充実</b>
<b>具体的な取組</b>	○福岡県立図書館、他の図書館との連携強化及び図書資料の相互貸借に努める ○郷土関係図書資料の充実に努める

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い層への図書館事業の周知に努める</li> <li>○読書バリアフリー法に基づく音声読み上げ対応の電子書籍導入に向けての検討を行う</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相互貸借貸出 1,743 冊、借受 1,159 冊 (R2 年度 貸出 2,011 冊、借受 1,201 冊)</li> <li>○郷土資料蔵書冊数 1,518 冊 (R2 年度 1,446 冊) のうち、「郷土の作家コーナー」資料 308 冊 (R2 年度 260 冊)</li> <li>○子どもの読書関連イベント (夏：実施、冬：中止)、読書推進講演会等 (中止)、読書推進関連イベント (1 回)</li> <li>○電子書籍導入済み図書館への調査を実施。</li> </ul>
<b>成果・課題</b>	<p>めざす姿にむけて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍のため相互貸借冊数が減少した。</li> <li>○郷土資料の購入と寄贈により資料が充実した。</li> <li>○電子書籍導入自治体 (北九州市子ども図書館) へ視察を実施し、導入に向けての工程・課題等を確認することができた。</li> <li>○コロナ禍でも開催できるイベント体制を検討する。</li> </ul>
<b>担当課</b>	文化・スポーツ振興課

<b>主な取組</b>	<p><b>子どもの読書活動の推進</b></p> <p>※子どもの読書活動の推進に関する法律第 9 条 2 項に規定する筑紫野市子ども読書活動推進計画としての取り組み</p>
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの読書意欲の向上や市民図書館の利用促進に努める</li> <li>○学校図書室への図書の配本サービスの利用を促進し、子どもの読書活動の推進に努める</li> <li>○子どもの読書活動の機会を創生するため、読書活動関係団体の活動を支援する</li> <li>○学校で読書の楽しさや大切さを伝える小学生読書リーダー、中学生読書サポーター養成講座を開催する</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブックスタート：定例開催日は規模を縮小し実施。 参加率：全対象者 1,245 名のうち 544 名の 43.7%</li> </ul>

	<p>※ R3年12月現在 (R2年度 46.9%)</p> <p>○学校向け配本サービス 貸出冊数 : 765冊</p> <p>※ R3年12月現在 (R2年度 1,338冊)</p> <p>○子どもの読書活動関係団体連絡会 : 今年度開催予定</p> <p>子ども読書活動事業を推進していくために小・中学校の学校図書室の実情についてヒアリングを実施。</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○ブックスタート : 緊急事態宣言中が臨時閉館となったため参加者数が減少した。</p> <p>○コロナ禍であっても、イベント内容を簡略化し、開催することができた。</p> <p>○学校向け配本サービス : 学校が必要とする本を配本できた。</p> <p>○子どもの読書活動関係団体連絡会 : コロナ禍にあっても有効な手法を検討する。</p> <p>○学校図書室の実情を踏まえ、福岡県と連携し、有効な手法を検討する。</p>
<b>担当課</b>	文化・スポーツ振興課

## 目標 6 歴史・文化の継承と振興

### 【めざす姿】

市の歴史・文化に関心を持つ市民が多くなっています。  
歴史・文化・芸術活動に多くの市民が取り組んでいます。

基本事業名	文化財の保護
めざす姿	文化財が適切に保護されています。
目標のあるべき姿	市内の文化財指定数（累計）が 43 件以上となっています。

主な取組	文化財指定の推進によるその保護と継承
具体的な取組	○地域に存在する未指定文化財の把握に努める
実績	○新規の文化財指定を追加することができなかった。
成果・課題	○めざす姿にむけて、市内の未指定文化財の調査に取り組んでいるが、多岐にわたる文化財の調査等に時間を要しており、指定件数の増加はあまり進捗していない。 今後は、調査を計画的に遂行し、文化財指定を推進するよう取り組む必要がある。
担当課	文化財課

主な取組	地理情報システムによる管理の充実
具体的な取組	○開発行為等により破壊される恐れがある文化財に対し、事前協議を行い適切な保護措置を講じる
実績	○埋蔵文化財の窓口相談 1,620 件に対応し、174 件の事前協議を行った。 ・窓口相談件数（参考） 令和 2 年度：1,139 件、令和元年度：833 件 平成 30 年度：544 件、平成 29 年度：570 件 ・事前協議件数（参考） 令和 2 年度：179 件、令和元年度：212 件

	平成 30 年度 : 160 件、平成 29 年度 : 143 件
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、開発等に伴う埋蔵文化財に関する窓口相談や事前協議に迅速に対応できている。特に、新規案件に対して、過去の調査履歴などの概要を迅速に確認することができ、適切な対応が取れている。</p> <p>今後は、現在までに 16,235 件（令和 2 年度は 14,435 件）登録している開発事前協議の膨大なデータの累積や、平成 20 年の導入以後システムの更新がなされていないことによる不具合を回避し、個々の詳細な事績管理を導入するなど、システム改修等により継続的に管理していくことが必要である。</p>
<b>担当課</b>	文化財課

<b>主な取組</b>	<b>文化財の保護とその公開及び活用</b>
<b>具体的な取組</b>	○発掘調査を遂行し、その記録を作成し公開する
<b>実績</b>	<p>○各種開発事業に伴い、筑紫氏居館跡（第 4 次：筑紫、第 5 次：筑紫）、トドキ遺跡（第 4 次：古賀）、野黒坂遺跡（第 6 次：針摺中央）、峠山遺跡（第 5 次：永岡）、山家遺跡（第 5 次：山家）、御笠地区遺跡 H 地点（第 2 次：牛島）、若八幡神社遺跡（第 1 次：上古賀）、松原遺跡（第 2 次：山家）の発掘調査を実施した。</p> <p>○柚ノ木遺跡、常松遺跡、大宰府条坊跡、堀池遺跡の整理報告作業を実施した。</p>
<b>成果・課題</b>	<p>○めざす姿にむけて、発掘調査を実施し、その記録作成を行った。</p> <p>○めざす姿にむけて、報告書刊行計画を策定して計画的な報告書作成に取り組んだ。</p> <p>今後は、全体業務の調整を行い、遅れが生じている報告書刊行の進捗を図る必要がある。</p>
<b>担当課</b>	文化財課

<b>基本事業名</b>	<b>文化財の整備と活用</b>
<b>めざす姿</b>	史跡等が総合的に整備され、文化財に触れることができるようになっていきます。
<b>目標のあるべき姿</b>	市民等が触れることができるよう整備活用されている史跡等の数（累計）が 10 箇所以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>計画的な史跡の整備と活用の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な指定文化財等の保存整備及び維持管理に努める</li> <li>○国指定史跡五郎山古墳の整備活用の効果を高めます</li> <li>○国指定史跡宝満山について、保存活用計画に基づいて管理する。 また、今後の保存と活用について、関係機関や地権者と協議を進める</li> <li>○国指定史跡阿志岐山城跡の今後の保存と活用について検討し、保存計画の策定の準備を行う</li> <li>○市内の文化財について、計画的に解説板の設置・修理等を実施し、市公式ホームページや広報などでも情報に努める</li> <li>○日本遺産に関する情報について、さらなる発信に努める</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定文化財等の適切な保全を図るため、地元の史跡保存団体などへ草刈等の日常的な管理を委託し、維持管理が行われた。</li> <li>○大雨等の災害時に、文化財パトロールを実施した（9回）。</li> <li>○五郎山古墳については、再整備による新たな情報を付加し、歴史博物館においてロビー展示を行った。また、パンフレット 2,000 部を新たに作成・配布し、啓発を行った。</li> <li>○史跡等解説板の改修を行った（3件：山家宝満宮 1 件、山家宿郡屋 2 件）。</li> <li>○日本遺産については、歴史博物館においてロビー展示「筑紫野市の日本遺産」を実施した。また、パンフレット 2,000 部を作成・配布し、啓発を行った。</li> </ul>
<b>成果・課題</b>	○史跡地等の草刈・除草・搬出、清掃美化を実施し、適切に管理されているが、経費の削減により、各所年間 3～4 回の維持管理作業に留めざるを得ない状況がある。



	○近年、大雨などの災害により史跡等の法面崩壊などが大規模に発生し、その対応に当たる人員が限られている。自然災害への早急な対応のため、柔軟な職員配置が必要である。
<b>担当課</b>	文化財課

<b>基本事業名</b>	<b>歴史学習の機会提供</b>
<b>めざす姿</b>	市や地域の歴史・文化を学ぶことができるようになっています。
<b>目標のあるべき姿</b>	歴史・文化に関する学習会等に参加した市民の数が 26,975 人以上となっています。また、歴史・文化に関する体験学習等に参加した児童・生徒の数が 2,677 人以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>学習支援の充実</b>
<b>具体的な取組</b>	<p>○歴史博物館において郷土の歴史や文化に関する企画展や講座を実施する</p> <p>○歴史博物館の貸出資料をパッケージ化し、学校や地域の歴史学習の場へ貸出しする</p> <p>○学校や地域の歴史学習の場へ学芸員を派遣する</p> <p>○SNS を利用した歴史学習の機会提供を行う</p> <p>○歴史文化に関する団体やボランティアの育成、支援に努める</p>
<b>実績</b>	<p>○郷土の歴史や文化に関する企画展や講座を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展示 4 回（年間観覧者数 3,923 人）</li> <li>・ロビー展示 8 回</li> <li>・五郎山古墳館開館 20 周年記念パネル展示</li> <li>・しっとこ九博 3 回（参加者総数 68 人）</li> <li>・夏の装飾古墳アート 4 回（参加者総数 48 人）</li> <li>・「古文書からの伝言」展示解説 8 回（参加者総数 29 人）</li> </ul> <p>○パッケージ資料を製作し、学校や地域へ貸出。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五郎山古墳の壁画を学ぼうセット 1 小学校</li> <li>・武蔵寺縁起絵図セット 1 コミュニティセンター</li> <li>・山家岩戸神楽セット 8 小学校、生涯学習センター</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の道具の貸出 5小学校</li> <li>・4 公立保育所への戦時資料の貸出</li> </ul> <p>○学校や地域の歴史学習の場へ学芸員を派遣。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二日市中学校：平和学習支援 2人</li> <li>・つくし郷土史会：講座 1人</li> <li>・九州産業高等学校：五郎山古墳解説 1人</li> <li>・岡田区自治会：講座 1人</li> <li>・筑紫コミュニティセンター主催講座：1人</li> <li>・筑紫コミュニティセンターパネル展支援：3人</li> </ul> <p>○SNS を利用した歴史学習の機会提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS で巡る常設展バックグラウンドツアー ツイート数：4回（8件）</li> <li>・市内の史跡・文化財を巡る「ぶらりちくしの」 ツイート数：21回（26件）</li> </ul> <p>○歴史関係団体及びボランティアの育成、支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会の会場提供と施設使用料の半額減免 つくし郷土史会 6回 古文書を読む会 31回</li> <li>・博物館ボランティアの育成 定例会6回（6回中止）</li> </ul>
<p><b>成果・課題</b></p>	<p>○年4回の企画展及び8回のロビー展示、各種講座を実施し、年間を通じて歴史博物館において歴史文化を学ぶ機会を提供できた。</p> <p>○貸出用パッケージ資料を製作し、小学校や地域へ貸出すことで、館外での歴史学習の充実を図ることができた。</p> <p>○学校や地域の歴史学習の場面に学芸員を派遣し、支援することができた。</p> <p>○歴史文化団体及び博物館ボランティアへ、会場の提供や活動を支援することで、郷土の歴史文化を学ぶ機会を提供できた。</p> <p>○コロナ禍を境に、歴史学習の支援における博物館の在り方については、今後も引き続き検討が必要である。地域や学校など、館外での学習活動が円滑に進むための支援が重要であると考え、</p>

	企画展示や各種講座の実施に加え、貸出資料のパッケージ化や SNS 等を利用した学習支援等の充実を図ることが引き続き必要である。
<b>担当課</b>	文化財課

<b>基本事業名</b>	<b>文化・芸術活動の推進</b>
<b>めざす姿</b>	文化・芸術の鑑賞などにより、豊かな感性が育まれています。
<b>目標のあるべき姿</b>	子育て世代の親子を対象とした文化・芸術鑑賞に関するイベント参加者数が 1,130 人以上となっています。また、文化会館を拠点とした文化・芸術鑑賞に関するイベント参加者数が 7,676 人以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>文化・芸術の活性化</b>
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化・芸術に関わる人や団体が活動し発表できる機会の創出を目指す</li> <li>○学校教育における文化・芸術に触れる機会の創出（アウトリーチ事業）に努める</li> <li>○文化・芸術情報の発信に努める</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表できる機会の創出：リモート配信を目指すパフォーマー支援事業を実施（3 団体）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチ事業：中止</li> </ul> </li> </ul>
<b>成果・課題</b>	○今後は、コロナ禍にあっても有効な方法を検討する。
<b>担当課</b>	文化・スポーツ振興課

<b>主な取組</b>	<b>人形劇のあるまちの推進</b>
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ちくしの人形劇まつり」の継続実施を目指す</li> <li>○コミュニティセンターなどでの地域公演の支援に努める</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人形劇まつり：感染症対策のため中止。</li> <li>○地域公演の支援：筑紫南コミュニティセンターでの人形劇</li> </ul>

	で 40 組の参加があった。
<b>成果・課題</b>	○人形劇まつりについては、コロナ禍においても感染症対策を講じた開催方法を検討する。 ○地域公演の支援については、感染症対策を講じながら地域の実情に沿った支援が必要。 ※緊急事態宣言等の発出時を除く
<b>担当課</b>	文化・スポーツ振興課

<b>主な取組</b>	<b>文化会館を拠点とした文化・芸術活動の促進</b>
<b>具体的な取組</b>	○文化会館をプラットフォームとした文化・芸術活動主体との連携に努める ○計画的な施設の長寿命化対策に努める
<b>実績</b>	○文化・芸術活動主体との連携：コロナ禍のため連携がとれず活動を休止した団体等がみられた。 計画的な施設の長寿命化対策：キュービクルの更新を実施。
<b>成果・課題</b>	○文化・芸術活動主体との連携：コロナ禍にあっても有効な方法の検討が必要。 ※緊急事態宣言等の発出時を除く ○計画的な施設の長寿命化対策：今後も計画的な大規模改修の取り組みが必要。
<b>担当課</b>	文化・スポーツ振興課

## 目標7 スポーツ・レクリエーションの推進

### 【めざす姿】

スポーツ・レクリエーション活動をする市民が増えています。

基本事業名	スポーツ施設の充実
めざす姿	スポーツ施設の充実により、スポーツをする環境が整っています。
あるべき姿	スポーツ施設満足度が70.0%以上となっています。

主な取組	スポーツ施設・整備の充実
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的な改修工事と保守作業を実施し、良好な施設の状態を維持する</li> <li>○計画的に機器を更新し、設備の充実に努める</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑紫グラウンドテニスコートフェンス修理。</li> <li>○農業者トレーニングセンターステージ壁面修理。</li> </ul>
成果・課題	○めざす姿にむけて、改修により施設の機能や安全性を回復することができた。引き続き、計画的な施設改修や設備更新に努める。
担当課	文化・スポーツ振興課

主な取組	施設の管理・運営の効率化
具体的な取組	○指定管理者により質の高いサービスを提供する
実績	○スポーツ施設の管理・運営を指定管理者に指定した。
成果・課題	○めざす姿にむけて、質の高いサービスを継続し提供できた。 スポーツ振興課と体育協会、現場の職員との定期的な協議の場を設け、懸案事項の共有化を行った。
担当課	文化・スポーツ振興課

<b>基本事業名</b>	<b>年齢や体力に応じたスポーツの振興</b>
<b>めざす姿</b>	市民の年齢や体力に応じたスポーツをする機会が充実しています。
<b>あるべき姿</b>	スポーツをする機会が充分だと思ふ市民の割合（18歳以上65歳未満）が91.0%以上、（65歳以上）が92.0%以上となっています。学校の体育以外で、スポーツをしている児童・生徒の割合が54.8%以上となっています。また、親子でスポーツをしている市民の割合が52.6%以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>スポーツ普及活動の推進</b>
<b>具体的な取組</b>	○スポーツイベントを定期的に開始し、スポーツの普及活動を支援 ○地域スポーツイベントを支援する
<b>実績</b>	○新型コロナウイルス感染症拡大により多くのスポーツイベントが中止となった。 ○オンラインセミナーなど感染症対策を講じたスポーツイベントの実施。
<b>成果・課題</b>	○新型コロナウイルス感染症拡大によりスポーツ施設が臨時休館となり、運動をする機会が減った。 ○オンライン等を活用するなど、スポーツイベントを安全に開催することができた。
<b>担当課</b>	文化・スポーツ振興課

<b>主な取組</b>	<b>体育施設の利用促進</b>
<b>具体的な取組</b>	○学校体育施設を開放し、スポーツが行える場所を提供する
<b>実績</b>	○学校プール施設開放の中止（7月）。 緊急事態宣言発出による施設利用中止
<b>成果・課題</b>	○コロナ禍で感染防止対策を徹底することで学校体育施設を継続して開放することができ、運動できる環境を提供することができた。 今後においても、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら

	事業の継続が必要。
<b>担当課</b>	文化・スポーツ振興課

<b>基本事業名</b>	<b>指導者・ボランティアの養成</b>
<b>めざす姿</b>	スポーツ・レクリエーションの指導者・ボランティアが養成され、市民や地域のニーズに対応できるようになっています。
<b>あるべき姿</b>	養成講座により養成された指導者・ボランティアの数が 364 人以上となっています。また、スポーツ・レクリエーション指導者数（有資格者）が 233 人以上となっています。また、スポーツ・レクリエーション指導者の充足度が 60.0%以上となっています。

<b>主な取組</b>	<b>指導者・ボランティアの養成</b>
<b>具体的な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導者養成講座の開催</li> <li>○スポーツ推進委員を地域に派遣し、指導者の充足度を高める</li> <li>○ボランティアを活用し、現場での養成を促進する</li> </ul>
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大のためイベントが中止。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーション講習会【中止】</li> <li>・生涯スポーツセミナー【実施】</li> </ul> </li> <li>参加者：63 人（オンライン 40 人、会場 23 人）</li> <li>（R2 年度：中止） オンラインによる開催</li> </ul>
<b>成果・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○継続的な指導者の育成が必要。</li> <li>○今後においても、オンライン講習会など参加者が、集まらずに開催できる環境が必要。</li> <li>※緊急事態宣言等の発出時を除く</li> </ul>
<b>担当課</b>	文化・スポーツ振興課

<b>主な取組</b>	<b>スポーツ情報の発信・提供</b>
<b>具体的な取組</b>	○地域のスポーツ団体を情報提供する
<b>実績</b>	○各コミセンや小・中学校へ現在活動中の団体資料を提供。 ○各団体の活動状況の問い合わせに対し、適宜対応。
<b>成果・課題</b>	○めざす姿にむけて、団体の活動状況について適宜、周知することができた。 今後においても引き続きスポーツ情報の提供に努める。
<b>担当課</b>	文化・スポーツ振興課



## 教育委員会点検・評価報告に関する意見

筑紫女学園大学 井口 司

### 1. はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、筑紫野市教育委員会が令和3年度に実施した事業について点検・評価したものをまとめたものである。前出の法律第26条の2項には、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とあり、昨年度に引き続き今年度も私が学識経験を有する者に任じられ、ここに報告された内容について意見を述べるものである。

### 2. 全体を通して

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で筑紫野市教育委員会の事業の一部が中止あるいは制約を受けるなど、施策の実現に苦慮している状況がうかがえる。一方で、コロナ禍であってもリモートでの実施など、事業の継続のための工夫が多く見られた。

さて、この報告書には、筑紫野市教育委員会が教育政策大綱及び教育振興基本計画で示した施策を具現化するために組織としてどのような取り組みを行ったかが明らかにされている。施策の点検・評価については、目標、基本事業名、めざす姿、あるべき姿、具体的な取組、実績、成果・課題、担当課の項目で構成され、教育委員会の各部署が責任と役割を担って、施策の実現に向けて鋭意努力していることがわかる。

全体的に感じたことは、昨年度と同様に筑紫野市教育委員会の組織としての力である。筑紫野市の教育政策大綱や教育振興基本計画が形式的なものでなく、その実現に向けて各部署が具体的な施策を通して組織的、計画的に事業が遂行されていることを高く評価したい。

### 3. 施策の点検・評価についての見解

#### 【目標1 人権尊重のまちづくり】

人権尊重のまちづくりは、筑紫野市としてもっとも力を入れている事業である。本事業としては、学校を対象とした事業、推進体制に関する事業、市民を対象とした事業が行われている。

学校を対象とした事業では、市内の全小中学校で社会科学習カリキュラムを活用した授業が実施されており、そのことが児童・生徒の人権意識の向上につながっている点は評価したい。学校において差別発言が昨年度より減少していることや、児童生徒自身が差別発言に対する認識を高めていることはよい傾向である。今後とも、子どもや保護者への人権感覚の啓発についての取り組みを期待したい。

人権・同和教育の推進体制の中で筑紫野市同和教育研究会は、大きな役割を果たしている。今後とも、同研究会との連携を密にしながら、市職員及び学校関係者に対して人権・同和教育の理念や実践の価値を継続的に発信することは重要である。

市民を対象とした事業では、毎年行われている市民懇談会や同和問題講演会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。人権・同和問題の市民啓発として成果をあげている事業であるだけに残念であるが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出されている中では、止むを得ない措置である。啓発冊子は予定通り発行され、同和問題啓発冊子「解放への一歩」、広報ちくしの「人権問題特集」、人権作文集「くさび」は、それぞれに人権・同和問題啓発の読み物として一翼を担っている。これらの啓発冊子を学習教材として活用したり、コミュニティセンターなどの公共施設に置いたりするなど、さまざまな機会を活用されることを期待したい。

### 【目標2 子育て支援の推進】

放課後児童クラブのニーズは、近年高まりを見せている。本市においても利用児童は1,000人を超えている。この放課後児童クラブで待機児童を生じさせないことや、子どもたちが安全に過ごせるよう配慮していることにも注目したい。本市ではこの事業をNPO法人ちくしっ子ネットワークに委託しており、運営上の課題について教育委員会がクラブ運営の支援を行っていることは高く評価したい。放課後児童クラブの利用児童の増加に伴い、保育環境の整備のために教育委員会が調整役となり、学校施設の活用が進められているのは良い例である。

### 【目標3 学校教育の充実】

学校教育に関する事業としては、施設整備に関する事業、教職員に関する事業、児童生徒に関する事業、その他学校と地域との協力体制や就学援助に関する事業が行われている。

施設整備に関しては、「学校施設管理マニュアル」をもとにした日常的な点検・修理や、年2回の「定期点検」及び年1回の「劣化調査」により、各学校や給食調理場の施設が適切に整備されている。小中学校に大型デジタルTVが設置されたことも、ICT教育を推進する上で活用が期待される。今後も児童の増加が見込まれる筑紫小学校のプレハブ校舎の設置等については長期的な見通しが欠かせない。

教職員の研修については、昨年度中止になっていた研修会がインターネットを使ってオンデマンドやオンラインによる研修が実施されており、改善が図られている。また、筑紫野市独自の研修も実施されており、教職員の指導力向上に寄与している。

教職員の働き方改革については、勤怠システムを活用し、教職員の勤務実態を把握した上で、改善を求めている点は評価できる。教職員の長時間労働は社会問題にもなっており、教育委員会及び学校管理職の指導により今後も教職員の勤務時間の縮減がさらに進むことを望みたい。

児童生徒の学力の把握については、国、県、市とでそれぞれに学力調査が行われている。報告書の「成果・課題」においては、「調査結果等を活用し、指導方法の改善につなげることができた」との記述があるが、もう少し具体的な記述がほしい。例えば「基礎的な内容の確実な定着と思考力を高める授業の構築」など。また、目標のあるべき姿に学習意欲の向上や家庭学習について取り上げているが、これを検証する資料などがあると分析が可能になり、課題が見えてくる。

英語教育は、小学校の3・4年で外国語活動、5・6年で外国語科が創設され、今後ますます重要になる。そのため、小中学校の英語教育を充実するためのALT派遣事業の意義は大きい。ICT教育は、児童生徒に一人一台のタブレットが配付され、実際に授業の中で活用できるようになったことは大きな成果である。各小中学校でもICT活用の研修が実施され、今後ますますICT教育が充実することを期待したい。そのためには、教育委員会によるICT教育に対する各小中学校への支援は欠かせない。

児童生徒の徳育に関する事業では、昨年度も指摘しているように児童生徒のめざす姿やあるべき姿が示されているので、こうした姿になるために教育委員会としてどんな取り組みをしているのか、その結果どのような状況にあるのかを述べる方がより具体的な実態が見えてくる。実際に筑紫野市教育委員会では市内小中学校で一斉にいじめアンケートや不登校児童生徒についての調査も行われており、その結果や現状をもとに、生徒指導に関する相談員の活用や不登校対策の組織的な取り組み実績を述べるができると思う。生徒指導や不登校についてはさまざまなケースがあり、市のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの相談件数も年々増えている。近年、スクールソーシャルワーカーの相談件数が増えていることから、学校をはじめ関係者が該当の児童生徒を取り巻く環境にどのように関わっていくかが課題となる。

子どもたちの豊かな心を育む上で読書の役割は大きい。その意味で、学校図書館を充実させることは重要である。本市では全小中学校に学校司書を配置しており、学校司書の存在は、児童生徒の読書活動を充実させる上で大きな力になっている。また、学校図書標準冊数についても充足率の伸びが見られる。今後も、さらなる学校図書館整備の充実に努めてほしい。

健やかな体の育成に関する事業として「体力向上プラン」及び「体育・健康・食に関する指導計画」が挙げられている。成果として体育の学習や「体力向上プラン」の改善について記述されている。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、運動場や体育館での密を避ける状況が続き、児童生徒にとって十分な運動量が確保できず、体力向上の面での評価が難しかったであろう。

特別支援教育の推進においては、個別の教育支援計画及び指導計画の作成は有効な手立てである。これについて、教育委員会が各小中学校に対し適切に指導を行っている点は評価できる。今後、特別に支援が必要な児童生徒が増えている中で、一人一人のニーズに合わせた教育支援をどのように実現していくかが課題である。

地域との協力体制の事業では、コミュニティ・スクールの充実が挙げられている。

各学校のコミュニティ・スクールの活動状況を把握する上で教育委員会の職員が学校運営協議会に出席することは評価できる。また、このことは教育委員会がめざすコミュニティ・スクール像の実現にもつながる。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で学校運営協議会の開催は減少したが、地域とともにある学校づくりは学校及び地域の活性化につながると考える。

就学支援事業として就学支援制度や奨学金制度等が活用されている。小中学校では対象者が1500人と就学支援制度が広く活用されている。教育委員会や各学校が対象の保護者にこの制度を周知している表れである。一方、奨学金制度等については新規の貸付者が6人である。実際には経済的な支援を必要とする家庭は潜在的に存在している。この制度の趣旨や活用について関係者を通じて徹底させたい。

#### 【目標4 青少年の健全育成】

青少年の健全育成のための事業については、今年度は関係団体が情報発信としてホームページを活用しているところが評価できる。コロナ禍にあって昨年度は多くの行事やイベント等が中止や縮小になったことを受けての改善点である。それだけに関係団体の事業継続の熱意が伝わる。近年「地域子ども会」については、子ども会の入会者が少ないという現状がある。そこで、筑紫野市が補助金を交付するなど、地域子ども会の育成に力を注いでいることは理解できる。子どもの活動ということでは、各地区のコミュニティセンターの子ども向けの活動をさらに充実させることを提案したい。

青少年の健全育成のための環境浄化活動については、青少年指導員及び少年補導員の活動は欠かせない。今年度は市内一斉パトロールが中止になっているが、所属地でのパトロールは実施されている。これら関係者及び関係機関が連携して青少年の非行防止のための活動を継続してほしい。

ヤングテレフォン相談については、児童生徒の相談件数が377件あり、この事業も定着してきている。引き続き、児童生徒の悩み相談の窓口として役割を果たしてほしい。

#### 【目標5 生涯学習・社会教育の推進】

生涯学習・社会教育の推進の事業では、コロナ禍であっても開催時期を考慮しながら、事業継続が図られている。特に、自治公民館主催事業やコミュニティセンター主催事業は参加者数が増加しており、市民の学びの場となっている。他の事業においてもコロナ禍ならではの運営が進められ、改善が図られている。

家庭教育事業は、昨年度中止になっていた事業が再開され、子どもを持つ保護者にとって学びの場の確保につながっている。異文化交流事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で海外からの人的な交流ができなかったため、取り止めになった事業もあるが、止むを得ない。

社会教育施設の老朽化に伴う設備改修においても計画的に行われており、評価できる。ただ、施設の多くが耐用年数を超過しているとの指摘があり、計画的な改修が望まれる。また、学習施設などの受付・管理・運営では業者委託で業務の効率化を図っているが、関係部署の職員との連携には留意してほしい。

市民図書館の事業は市民の豊かな生活の一翼を担っている。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で臨時閉館があり、多くの事業やイベントに支障が生じたことは止むを得ない。その中であって郷土資料の充実が図られていることは喜ばしい。その一つとして「杉山三大コーナー」は新聞にも取り上げられた。また、子どもの読書活動のために、市民図書館の学校向け配本サービスがある。この事業については今年度も継続して実施でき、子どもの読書活動に寄与できたことは評価したい。今後も市民にとって魅力ある図書館づくりに努めてほしい。

#### 【目標6 歴史・文化の検証と振興】

歴史・文化の継承と振興の事業として文化財の保護、文化財の整備と活用、歴史学習の機会提供、文化芸術活動の推進についてそれぞれ事業が行われている。

文化財の保護については、開発行為から文化財を守るために窓口相談や事前協議が迅速に行われていることは評価できる。今年度の窓口相談は1500件を超え、その数は年々増えている。これは開発業者の文化財に対する意識の高まりとともに、本市には多くの文化財が埋蔵されている可能性を秘めているからであろう。また、各種開発事業にとまない多数の発掘調査がなされている。発掘調査等には多くの時間と労力を費やすことにはなるが、一方で「歴史のまち・筑紫野市」をアピールすることにもなる。

文化財の整備についても委託業者を活用しながら効率的に管理が行われている。五郎山古墳の再整備や「筑紫野市の日本遺産」をテーマにした歴史博物館におけるロビー展示は興味をそそられる。

歴史学習への機会提供としては、学芸員の派遣、学校への学習支援、ボランティアや歴史団体への支援、ロビー展示や企画展、貸出資料のパッケージ化などさまざまな形で行われている。特にコロナ禍にあつて、パッケージ資料の利用が増えているのは好ましい。歴史を学ぶ上で筑紫野市歴史博物館の役割は大きい。今後も魅力ある企画や展示を期待している。

文化芸術活動についてもさまざまなイベントが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっている。リモートでの発信や規模を縮小しての開催など一部は実施されているが、今年度も活動を大きく制限せざるを得なかったであろう。本市の文化活動の拠点である文化会館の老朽化に伴う大規模改修も計画的に進めていく必要がある。

#### 【目標7 スポーツ・レクリエーションの推進】

スポーツ・レクリエーションの推進に関する事業としてスポーツ施設の整備事業、

スポーツイベントの事業、指導者養成事業が計画されている。

スポーツ施設は利用者が安全に施設を利用できるようにすることが重要であり、計画的な改修や日々の施設管理は欠かせない。その点、本市では計画的かつ適切な運用がなされており評価できる。また、学校体育施設の開放も感染防止対策を講じながら適切に行われている。

スポーツイベント事業については残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった。コロナ禍では集団で集まることができないため、止むを得ない措置である。心身の健康においてスポーツ・レクリエーションの果たす役割は大きいものがある。コロナ禍において今後どのように啓発できるかが課題である。

指導者養成事業については、昨年度中止された生涯スポーツセミナーがオンラインで実施され、市民への生涯スポーツへの啓発に寄与している。これも昨年度からの改善である。

#### 4. おわりに

この報告書には、筑紫野市教育委員会が自ら掲げる教育ビジョンをどのように具現化するかが色濃く表れている。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった事業も多くあった。しかし、昨年度の全面的な中止から今年度はオンラインを活用した事業も多くあり、コロナ禍においてどのように事業継続していくか模索しながらも前向きに取り組む姿がうかがえた。

ここまで私が述べてきた意見が次年度の事業に何か一つでも参考になれば、幸甚の喜びである。一方で、現実的でなく、的はずれの意見もあると思うが、その点をご容赦願いたい。この1年間も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で業務に支障をきたし、さまざまな面でご苦勞の連続であったことは想像に難くない。そうした中でも、真摯に職務を遂行された筑紫野市教育委員会の職員の皆様に敬意を払うとともに、今後の筑紫野市教育委員会のさらなる発展を祈念するものである。



